

2018年度第2四半期決算について

2018年11月2日
新日鐵住金(株)

<損益実績(連結)>

	2018 上期	2017 上期	2017上期 → 2018上期	2018上見 (8/2公表)
売上高	29,034	27,450	+ 1,584	30,000
経常利益	1,515	1,576	※1 - 61	1,500
[ROS]	[5.2%]	[5.7%]	[-0.5%]	[5.0%]
特別損益	77	▲ 29	※2 + 106	
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,412	991	+ 421	1,300
<1株当たり当期純利益>	< 160.1 >	< 112.3 >	< + 47.7 >	< 147.0 >
[ROE]*	[8.9%]	[6.6%]	[+2.3%]	
有利子負債	23,474	21,745	+ 1,729	
D/Eレシオ	0.74	0.71	+ 0.03	

* 年率換算

※1 連結経常利益差異の内訳

(単位: 億円)

2017上期
→2018上期
対前回

連結経常利益 差異	-60	+20
1. 製鉄事業	-20	-30
① 生産出荷	+20	-250
② 販売価格・構成	+990	+70
③ 原料価格(キャリアオーバー含む)	-400	+20
④ コスト改善	+410	~
⑤ 在庫評価差	-320	+220
⑥ グループ会社	-140	+180
⑦ 為替影響(ストック、フロー)	+60	~
⑧ 豪雨、台風、地震影響	-270	-170
⑨ その他	-370	-100
2. 鉄以外セグメント	+50	+50
3. 調整額	-90	~

※2 特別損益内訳

(単位: 億円)

	2018 上期	2017 上期	2017上期 →2018上期
特別損益合計	77	▲ 29	+ 106
投資有価証券売却益	287	-	+ 287
設備休止関連損失	-	▲ 29	+ 29
災害損失	▲ 210	-	- 210

<諸元>

(1) 当社

	2018 上期	2017 上期	2017上期 → 2018上期	2018上見 (8/2公表)
連結粗鋼生産量(万t)	2,365	2,323	+ 43	2,440程度
単独粗鋼生産量(万t)*1	2,050	2,009	+ 41	2,130程度
鋼材出荷量(万t)*1	1,856	1,872	- 16	1,980程度
鋼材価格(千円/t)*1	88.7	83.5	+ 5.1	88程度
為替(円/\$)	109	111	2円高	110程度

*1 2017年度は日鉄住金鋼鉄和歌山を含む

(2) 全国

	2018 上期	2017 上期	2018上期 → 2017上期	2018上見 (8/2公表)
粗鋼生産量(万t)	5,221	5,204	+ 18	5,311程度
鋼材消費(万t)*2	3,097	3,103	- 6	3,114
(うち 製造業)	(1,994)	(1,980)	(+ 14)	(2,001)
<製造業比率>	< 64.4% >	< 63.8% >	< + 0.6% >	< 64.2% >
普通鋼鋼材消費(万t)	2,443	2,457	- 14	2,458
建設	1,060	1,079	- 20	1,070
製造業	1,383	1,378	+ 5	1,388
特殊鋼鋼材消費(万t)	655	646	+ 8	656
国内メーカー問屋在庫(万t)*3	622	570	+ 52	
薄板三品在庫(万t)*3	440	416	+ 24	

*2 当社推定値 *3 9月末(速報)

<セグメント情報>

(単位: 億円)

	2018 上期	2017 上期	2017上期 → 2018上期	2018上見 (8/2公表)
売上高	29,034	27,450	+ 1,584	30,000
製鉄	25,570	24,380	+ 1,190	26,700
エンジニアリング	1,613	1,341	+ 272	1,600
化学	1,057	983	+ 74	1,050
新素材	202	179	+ 23	210
化学 + 新素材	1,259	1,162	+ 97	1,260
システムソリューション	1,246	1,165	+ 81	1,180
調整額	▲ 655	▲ 598	- 57	▲ 740
経常利益	1,515	1,576	- 61	1,500
製鉄	1,266	1,287	- 21	1,300
エンジニアリング	29	19	+ 10	25
化学	125	93	+ 32	90
新素材	12	11	+ 1	10
化学 + 新素材	137	104	+ 33	100
システムソリューション	115	107	+ 8	110
調整額	▲ 33	56	- 89	▲ 35

2018年度上期実績(IFRS)及び年度業績見通し(IFRS)について

2018年11月2日
新日鐵住金株

<損益見通し(連結・IFRS試算値)>

	2018年度見			2017年度	2018上期 → 2018下見		2017年度 → 2018年度見		2018年度見 (8/2公表)
	上期	下見							
売上収益	29,400	32,600	62,000	57,129	+ 3,200	+ 4,871		63,000	
事業利益※1 [ROS]	1,580 [5.4%]	1,920 [5.9%]	3,500 [5.6%]	2,887 [5.1%]	※2 + 340 [+0.5%]	※3 + 613 [+0.6%]		3,500 [5.6%]	
親会社の所有者に 帰属する当期利益 <1株当たり当期利益>	1,170 <132.6>	1,230 <136.4>	2,400 <269.0>	1,808 <204.9>	+ 60 <+ 3.9>	+ 592 <+ 64.1>		2,400 <269.0>	

(注)2018年度上期実績及び年度見通しについては、当社が2019年3月期より国際財務報告基準(IFRS)を任意適用することを決定したため、IFRSに基づく試算値を記載しております。

(※1)事業利益とは、持続的な事業活動の成果を表し、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する連結経営業績の代表的指標であり、

売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費、及びその他費用を控除し、持分法による投資利益及びその他収益を加えたものであります。

その他収益及びその他費用は、受取配当金、為替差損益、固定資産除却損等から構成されております。

(※2、3) 連結事業利益差異の内訳

(単位: 億円)

<諸元>

(1) 当社

	2018上期 →2018下見	2017年度 →2018年見
連結事業利益 差異	+340	+610
1. 製鉄事業	+360	+630
① 生産出荷	+310	+350
② 販売価格・構成、原料価格	~	+780
③ コスト改善	~	+440
④ 在庫評価差	-330	-400
⑤ グループ会社	~	-150
⑥ 為替影響(ストック、フロ)	-60	+120
⑦ 豪雨、台風、地震影響	+190	-350
⑧ その他	+250	-160
2. 鉄以外セグメント	~	+50
3. 調整額	-20	-70

	上期	下見	2018 年度見	2017 年度	2018上期 → 2018下見	2017年度 → 2018年度見
連結粗鋼生産量(万吨)	2,365	2,530程度	4,900程度	4,702	+ 165程度	+ 198程度
単独粗鋼生産量(万吨)*1	2,050	2,160程度	4,210程度	4,067	+ 110程度	+ 143程度
鋼材出荷量(万吨)*1	1,856	2,000程度	3,850程度	3,779	+ 144程度	+ 71程度
鋼材価格(千円/ト)*1	88.7	90程度	89程度	84.7	+ 1程度	+ 5程度
為替(円/＄)	109	110程度	110程度	111	1程度円安	1程度円高

*1 2017年度は日鉄住金鋼鉄和歌山を含む

(2) 全国

	上期	下見	2018 年度見	2017 年度	2018上期 → 2018下見	2017年度 → 2018年度見
鋼材消費(万吨)*2	3,097	3,211	6,308	6,274	+ 114	+ 34
(うち 製造業)	(1,994)	(2,048)	(4,042)	(4,008)	(+ 54)	(+ 34)
<製造業比率>	<64.4%>	<63.8%>	<64.1%>	<63.8%>	<- 0.6%>	<+ 0.3%>
普通鋼鋼材消費(万吨)	2,443	2,556	4,998	4,975	+ 113	+ 23
建 設	1,060	1,117	2,177	2,178	+ 57	- 1
製 造 業	1,383	1,439	2,822	2,797	+ 56	+ 25
特殊鋼鋼材消費(万吨)	655	655	1,310	1,300	+ 0	+ 10

*2 当社推定値

<セグメント情報>

	上期	下見	2018 年度見	2017 年度	2018上期 → 2018下見	2017年度 → 2018年度見
売上収益	29,400	32,600	62,000	57,129	+ 3,200	+ 4,871
製 鉄	25,900	29,100	55,000	50,615	+ 3,200	+ 4,385
エンシニアリンク	1,610	1,890	3,500	2,942	+ 280	+ 558
化 学	1,060	1,140	2,200	2,007	+ 80	+ 193
新 素 材	200	200	400	370	-	+ 30
化学 + 新 素 材	1,260	1,340	2,600	2,377	+ 80	+ 223
システムソリューション	1,250	1,330	2,580	2,442	+ 80	+ 138
調 整 額	▲ 620	▲ 1,060	▲ 1,680	▲ 1,248	- 440	- 432
事業利益	1,580	1,920	3,500	2,887	+ 340	+ 613
製 鉄	1,320	1,680	3,000	2,368	+ 360	+ 632
エンシニアリンク	30	55	85	91	+ 25	- 6
化 学	120	80	200	154	- 40	+ 46
新 素 材	10	10	20	19	-	+ 1
化学 + 新 素 材	130	90	220	173	- 40	+ 47
システムソリューション	115	130	245	232	+ 15	+ 13
調 整 額	▲ 15	▲ 35	▲ 50	20	- 20	- 70

*3 2017年度の製鉄以外セグメントは日本基準数値。製鉄セグメントには日本基準・IFRS差異含む。

(ご参考)日本基準-IFRS差異(試算)

(単位: 億円)

	2018上期	2017年度
経常利益(日本基準)	1,515	2,975
差異	+60	-88
1. 会計処理差異	-20	+54
のれん非償却化	+50	+105
退職給付関連等	-70	-51
2. 表示組替	+80	-142
金融収支(事業損益外へ)	+80	+192
特別損益(事業損益内へ)		-334
事業利益(IFRS)	1,580	2,887

	2018上期	2017年度
当期利益(日本基準)	1,412	1,950
差異	-250	-142
1. 会計処理差異	-250	-142
投資有価証券関連	-200	-176
のれん非償却化	+50	+103
退職給付関連等	-100	-69
当期利益(IFRS)	1,170	1,808

【剰余金の配当(第2四半期末)について】

当第2四半期末の剰余金の配当については、既公表の配当方針に従い、第1四半期決算発表時(2018年8月2日)に公表致しましたとおり、1株につき40円(連結配当性向(IFRSベース)30.2%)とさせていただきます。

なお、当期末の配当については、第3四半期決算発表時に、年度業績見通し等を踏まえて判断し、公表する予定です。

(注)上記予想には本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

新日鐵住金株式会社

コード番号 5401 上場取引所 東京、名古屋、札幌、福岡

問合せ先 責任者役職名 広報センター所長

氏 名 大西 史哲

TEL (03)6867-2130

<2019年3月期 第2四半期決算 補足情報>

[全国]

1. 粗鋼生産量

単位:万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
	2017年度	2,609	2,594	5,204	2,639	2,641	5,280
2018年度	2,656	2,565	5,221	2,645程度 ^(※)			

^(※)経済産業省見通し

2. 在庫推移

	国内メーカー問屋在庫 万トン	(在庫率) %	薄板三品：熱延+冷延+表面処理 万トン	ときわ会H形鋼 万トン
2016.10末	561	(140.4)	396	17.7
2016.11末	543	(135.3)	383	17.3
2016.12末	548	(146.8)	381	17.7
2017.1末	560	(148.6)	389	18.6
2017.2末	564	(151.9)	388	20.0
2017.3末	537	(124.8)	380	20.1
2017.4末	554	(151.7)	388	19.7
2017.5末	578	(155.9)	409	19.7
2017.6末	556	(139.9)	401	19.3
2017.7末	542	(142.0)	395	18.9
2017.8末	566	(158.4)	414	17.9
2017.9末	570	(145.4)	416	18.2
2017.10末	583	(150.1)	411	17.6
2017.11末	566	(139.2)	400	17.3
2017.12末	567	(149.2)	404	17.5
2018.1末	586	(157.5)	415	18.5
2018.2末	581	(154.4)	412	19.6
2018.3末	583	(140.8)	421	20.0
2018.4末	579	(145.8)	415	19.6
2018.5末	587	(150.1)	434	20.0
2018.6末	592	(149.3)	441	20.7
2018.7末	568	(143.1)	420	20.8
2018.8末	601	(170.5)	439	20.4
2018.9末*	622	(176.0)	440	20.4

*2018.9末は速報値

〔当社〕

3. 出銑量（当社＋北海製鉄＋日鉄住金鋼鉄和歌山^(※1)）

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	992	1,013	2,005	1,008	1,049	2,057	4,061
2018年度	1,025	1,024	2,049			2,140程度	4,180程度

4. 粗鋼生産量

【連結ベース】 当社＋連結子会社

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	1,149	1,174	2,323	1,172	1,207	2,379	4,702
2018年度	1,189	1,176	2,365			2,530程度	4,900程度

【参考：単独ベース】 当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山^(※1)

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	990	1,019	2,009	1,008	1,050	2,058	4,067
2018年度	1,029	1,021	2,050			2,160程度	4,210程度

5. 鋼材出荷量（当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山^(※1)）

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	934	939	1,872	939	967	1,907	3,779
2018年度	957	899	1,856			2,000程度	3,850程度

6. 鋼材平均価格（当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山^(※1)）

単位：千円/トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	84.0	83.0	83.5	86.0	85.7	85.8	84.7
2018年度	87.2	90.2	88.7			90程度	89程度

7. 鋼材輸出比率（金額ベース）（当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山^(※1)）

単位：%

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	42	41	42	41	41	41	41
2018年度	41	41	41			40程度	41程度

8. 為替レート

単位：円/\$

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	111	111	111	113	110	111	111
2018年度	108	111	109			110程度	110程度

9. 設備投資額（工事ベース）及び減価償却費
【連結ベース】

単位:億円

	設備投資額	減価償却費
2017年度	4,119	3,407
2018年度 ^(※2)	4,500程度	4,300程度

(※1) 日鉄住金鋼鉄和歌山は2018年4月1日をもって当社に吸収合併されている。

(※2) IFRS移行影響等含む。

以 上